

令和 7 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 西島小学校 学校協議会

1 総括についての評価

いじめ・いのちについて児童・教職員が深く考える機会を多く持つことで、「いじめはいけない」と思う児童の割合を改善することができている。また児童が「学校に行くのが楽しい」と思って学校に通うことはとても大切なことだ。学校行事、PTA 活動、地域活動の精選で取組内容が変わってきているが、今年度も各団体が協力して教育活動に取り組むことができた。そのことにより、学校、PTA、地域が連携し合い活動することで、西島小学校地域全体で子供たちを支え育む環境をよりよくすることができた。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】

取組内容④【基本的な方向 2 豊かな心の育成】がC評価だった。昨年度は一昨年度と比べてゲストティーチャーから授業を受ける機会が低学年において少なかった。次年度はさまざまな団体に掛け合い、児童がキャリアデザインできるような活動に多く取り組む。

年度目標：【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

取組目標③【基本的な方向 5 健やかな体の管理】がC評価だった。かけあし週間、縄跳び週間等児童が体力向上に取り組めるよう行っている活動を次年度も引き続き取り組む。また一輪車や鉄棒等さまざまな運動内容に取り組めるように、体育科の授業や休み時間の活用方法を工夫する。そして次年度は今年度以上に体力を向上できるようにする。

年度目標：【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】

取組目標④【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】がC評価だった。教職員の残業時間を昨年度よりは減らすことができているが、まだまだ残業時間が多い教職員がいるのが実情である。次年度は、校務分掌の仕事を教職員が1名ではなく、複数人で担うようにするとともに、校務分掌をさらに精選する。そして仕事量を軽減し残業を減らすようにする。児童が安心・安全に過ごすためにも、教職員が安心安全に教育活動に取り組めるよう、心身共にゆとりをもって仕事をするのが大切だと教職員に再確認し、日々の教育活動に取り組む。

3 今後の学校園の運営についての意見

「学校に行くのが楽しい」と答える児童が今年度 81%いた。来年度はその割合をさらに増やすことで、児童がより笑顔で安心・安全に学校生活をおくれるようにしてほしい。そのためにも、教職員がゆとりをもって健康的に過ごして教育活動に取り組めるようにすることが大切である。働き方改革を進めるとともに、PTA や地域、関係諸機関と連携することで教職員の業務を軽減できることもあるので、次年度はそのこともすすめていく。